

# 普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)6月4日  
所属名:高島農産普及課  
番号:H25005(個有)  
発信者名:中橋、大角

## バイオマス作物の試験栽培スタート！

5月26日、高島市安曇川町泰山寺で、土地改良区の役員や生産者合わせて4名によりバイオマス作物である「エリアンサス」および「ジャイアントミスカンサス」の定植が行われ、当課が作業を支援しました。

高島管内では高齢化等で耕作者が減少する中、耕作放棄地が増加しており、このような耕作放棄地は野生獣による農作物被害が多いところほど顕著となっています。耕作放棄地対策として栽培に労力・コストが掛からず、獣害に遭わない栽培作物の検討が進められていますが、適した作物が見つからないのが現状です。

「エリアンサス」および「ジャイアントミスカンサス」は、農研機構が温室効果ガスの削減とカーボンニュートラルの達成を目的に開発したイネ科多年生のバイオマス作物であり、耕作放棄地対策、獣害対策に適した作物として有望視されています。今回、当課が耕作放棄地や獣害に悩んでおられる安曇川町泰山寺に働きかけ、試験的に栽培することとなり、苗の調達や定植について支援を行いました。今後は地域における「エリアンサス」および「ジャイアントミスカンサス」の生育適応性や燃料としての活用法の検討を進めていきます。



図1 定植作業の様子



図2 左:「エリアンサス」、  
右:「ジャイアントミスカンサス」